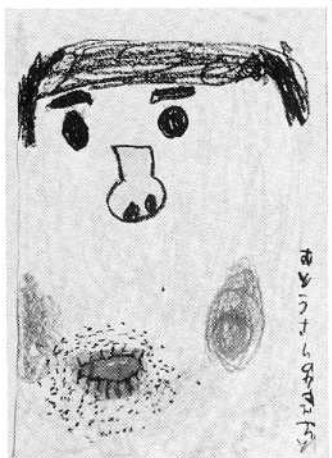


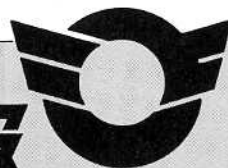
保育園からこんにちは

おとうさんのかお  
やすみずほちゃん(五歳・大明神)

越原保育園



おとうさんのかお



No. 340 6/15

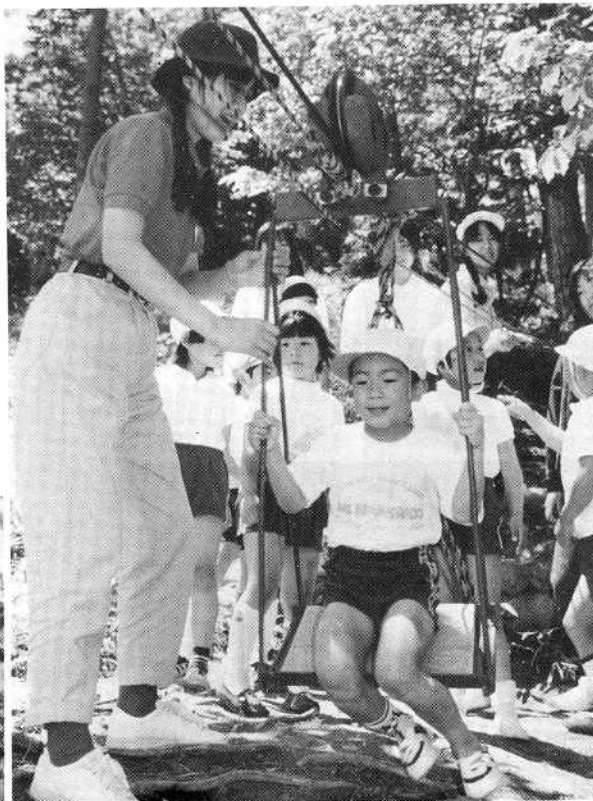
# 広報 ひがししらかわ

■発行 東白川村 ■編集 東白川村企画課 ■〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神戸548番地  
■☎(05747)8-3111・内線26 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷株式会社

## 遊びなら僕らが先生だ!

「お姉ちゃんこっちこっち」「ちよつと待ってヨー」と、息も荒く児童に手を引かれるお姉さんは、名古屋女子大学児童教育学科1年生51人のみなさん。

教師になる前に、創立者「越原春子」先生の生誕の地を訪ね、教師を立志された学舎周辺的环境をもう一度よく味わってみようと、東白川小学校を訪れ「あそびの森」でふれあいの一時を過ごしました。



▲「いいでしょ!僕らには遊びの森があるんだよー」



▲「見ててこう遊ぶんだよー」



▲「元気な子供たちにビックリ・こんなステキな学校の先生になれたらなー」

## 人口の動き

—5月末住民登録人口から—	
世帯数	912世帯
人口	3,531人
転入	10人
転出	5人
出生	4人
死亡	2人
先月と比較して7人増	
昨年同月と比較して33人減	



# あなただは 捨てる人？ 拾う人？

## だれかが捨てたゴミをめぐって

五月八日、林道久須見―大野線沿いの山林で、「ゴミのなげすてに困っている」と、山林所有者から連絡がありました。林道が整備されるにつれ、年々あとを絶たない不法投棄。その実態をリポートしながらゴミの問題を考えてみたいと思います。

面を転がり落ちたゴミを拾う人。  
何十部もあるポンプや農機具をロープで引き揚げる苦労は、捨てた人には想像もつかないことでしょう。

一日掛りで拾い揚げたゴミの量は、何んと軽トラツクに山盛り一杯。

「自転車・扇風機・ふとん・貝殻など」そのほとんどが集取できるものばかりでした。

なぜ、わざわざこんな遠くまで捨てに来る必要があったのでしょうか。「久須見から黒川へ通り抜けが出来るようになった、山仕事以外の人がこの道を利用するようになった。きつと

通行中にゴミの山を見つけ、こゝなら捨ててもわからないと思つたんだろうね」と山林所有者の古田甲子雄さん（久須見）の話。

こうしたゴミをわざわざ持つてくる人と、集取日にきちんと出す人の違いはどこにあるのでしょうか。

集取日まで家に置いておくことがガマンできない。燃えるゴミと燃えないゴミ



引き揚げられたゴミの山……

ミを分けるのがめんどうだ。それくらいの違いではないでしょうか。

しかし、ルールを破ることは違反なのです。この現場に立合った駐在所の永井巡査部長は、「田舎ほど、ゴミを捨てることに對して『罪なんだ』という認識が無いようです。町ならこの程度の問題では済まされません。この村の場合、毎月第一日曜日が緑の日として定められています。ゴミの始末は、常識のある判断でお願いしたいものです。」

私がこの村へ来たときのあの「美しい」と思った感激はいつまでも胸に秘めておきたいもの。それは、村へ訪れる人みんなの願いです。」



現地をたずねてみると、切り落した枝の下から止めどなく出るゴミ。そのゴミを手にしなから古田さんは、「他人の山ならなおさら、自分の山だからと思つて捨てたゴミでも、人から見たら『ここに捨てて下さい』というふうなもの。捨てるときは、埋めるように心掛けないと……。とにかく捨てられる環境を取り除くことだが、山林のガラスの投げ捨ては、危険で仕事が出来ない！」そんな言葉のとおり、山を歩いてみると、投げ捨てられたガラスが突き刺っています。古田さんの言葉は山林所有者みんなの声なのです。

「だれかが捨てた一袋のゴミ」そのゴミを見て、まただれかがゴミを捨てる。「きつとわかりはしない」そんなかるはずみな思いますが、美しいヒノキの林を、いつの間にかゴミ捨て場に変えてしまった。「いったいだれがこんなひどいことを！」そんな思いを抱きながら、二十メートルの高さから斜

# 年間八百万円が処理費

今回、投棄してあったゴミのほとんどが、毎月行っている燃えないゴミの収集で処理出来るものでした。

「村を美しくしよう」という気持ちと、ルールさえ守れば、このような問題も発生しなかったことでしょう。

燃えないゴミの収集は、偶数月を金物類、奇数月をガラス類と定めて収集を行っています。毎月収集する量は村全体で二トトラックに四杯。その処理費用として年間百三十万円の負担金

が、可茂衛生施設組合へ支払われています。このほか、し尿処理に約五百万円・塵芥処理に約百四十万円で、全体で八百万の

負担金が納められています。

このようにしてゴミ処理の受入れ体制ができていますから

ルールを守って、指定日に指定場所へ出すことで、大部分の問題は解決するのではないのでしょうか。

燃えるゴミは毎週木曜日の夕方に指定場所へ。

燃えないゴミは有線放送でお知らせする時に……

ただ、処理施設でも、モーター、乾電池、カワラ、陶器、タイルなどは処理できません。

今回捨てられていたゴミの中には、収集できないものもあつ



手つかずの食品がごっそり、仕分けをする今井さんと安江さん



ゴミかごが置かれていてもこのとおり

たかもしれませ

しかし、結果的には山林所有者が拾い集め、村を通じて処理したのです。

では収集できないものを、どう処理したらよいのでしょうか。例えば、収集制限(縦九十センチ×横六十センチ×長さ五十センチ)以上の大きなものは、分解・切断して小さく、肩もみ機など金属とビニールが一体になったものは、一度燃してビニールの部分をきれいに取り除き、燃えないゴミとして出すことができます。

それでも処理出来ない家庭用のゴミは、工事の埋め立て現場を利用する方法がありますが

この場合は捨てるものの内容をその現場監督に説明し、許可を得なければ捨てることは出来ません。

また、一般に産業廃棄物と呼ばれている、商工業者から出た自動販売機の空き缶や、鉄くず類は、扱っている業者が施設へ運んで処理しなければならぬものです。その場合は、十器当たり五十円の処理料が必要です。

いつかだれかの手を煩わせる道路が整備されると、きまつて待避所にはゴミが目立ちます。

散乱するゴミにみるにみかねて設置されたゴミかごのそばにも

投げ捨てられたゴミ。平の今井眞子さん(商工会婦人部長)と安江清美さん(婦人部役員)は、部会の申し送り、設置したゴミかごの清掃を率先して引き受け、三年間欠かすことなく続けられていきます。毎週最低一回、夏場などは生ゴミが腐ってウジがわくため一日置きに交替で清掃して、「今では、清美さんのご主人にも手伝ってもらい、大変助かっています」と話す今井さんも、「ウツ」と顔を背けたくなるのが紙おむつ。

固くしばった袋の中には、残飯、ジュース、などといっしょに入れられており、分類するにもひと苦労です。ここでも久須見の場合と同じように、捨てられたごみは、最後にはだれかの手を煩わせて処分されているのです。

立村百年を契機に環境美化!

村の美化に協力しようと、善意の気持ちでゴミかごを設置しても、婦人部のようにかたづけをする人がなければ、かご自体がゴミになってしまいます。ゴミが散乱しているからごみかごを置く。しかし、いっこうに減らないゴミ。いったいどうしたらきれいな環境が作れるのでし

紙おむつも燃えるゴミです

以前と違って紙おむつもファンを取り除けば、燃えるゴミとして処理されるようになりました。収集を担当している安江正光さん(平)は、「近ごろはルールを守ってもらえるようになり、

とても助っています。先日の抜き取り検査も合格でした」と喜んでいま



す。

ようか。結局前にもふれた古田さんの言葉に尽きるのではないのでしょうか。

「だれかが捨てた一袋のゴミ」この最初の一袋を取り除かない限り、右へならえの状態が続くのです。

立村百年を迎え、これを契機に環境美化を進めようという、小さな運動や声が高まってきました。

先人が残してくれたこの自然を守るために、私たち一人ひとりが何をすべきなのでしょう……

# 立村百年村議会さあ夢おこし

五月十一日に開かれた東白川村議会臨時会で、私約交替によって議会展職の改選が行われました。  
議長に古田眞之助氏、副議長に安江久夫氏がそれぞれ就任されました。

## 議長就任のごあいさつ

このたび、はからずも議長の大役を務めさせていただくことになりました。  
もとよりその器ではございませんが、議会をはじめ行政当局、村民皆様のご指導とご協力をいただき重責を果したいと思っております。

今年ここに今日があることを感謝するものであります。村では今年畑総事業も最終段階を迎え、ほ場整備は完了する事になります。休みなく変化していく産業、経済、社会構造に対処する先取りの施策を考へて行かなければなりません。



議会議長 古田眞之助氏

本年は、東白川村立村百年という記念すべき年に当ります。その百年の歩みを振り返る時、先人たちが明治・大正・昭和と続いた正に激動の中で、来たるべき豊かな東白川村を夢見て努力され

とす村内道路網の整備・教育・医療・老人化社会への対処等重要な課題が目白押しです。また本年、第二次東白川村総合計画の見直しをすることになっております。平成元年度より始まる次の百年に向けて、豊かで住み良い村を築くために、議会も村民皆さんの正しい与論を背景として全力を尽します。一層のご指導とご協力をお願いします。

**背後に潜む危険!**  
土砂災害防止月間 6/1~6/30

「おーい/起きろ/水が出るぞー/集会場へ避難してください。」

ドシャ降りの中を駆け回る消防団員。稲光りの明りを頼りに、先祖のいはいのみを持って逃げた住民。二十年前の集中豪雨(八・一七災害)で大規模な被害を受けた、下野集落の真夜中の出来事です。

そろそろ梅雨。長雨や集中豪雨により、土石流、がけ崩れなどの土砂災害が心配される時期です。「私の家は、谷の上流だから水害の心配はない、これぐらいの雨なら大丈夫だ」と、危険な思い込みをしています。過信ほど恐いものはありません。八・一七災害で受けた教訓を、下野の今井梅男さんはこう語っています。

「災害に遭うまで、谷の上流だからと水害の心配などしたことはありません。しかも、



八・一七災害で被害を受けた下野―今井梅男さん宅前

伐採された木が土石流に混って流れ、私の家のすぐ上で流れをせき止めたのです。知らぬ間に玄関先は川と化し、死ぬ思いで三人子供を抱いて裏口から逃げました。夜が明けると、表にあつた車が裏の池に浮いていたほどです。絶対大丈夫と思いついた自信が、みごとに崩れ去った苦い体験でした。」

いつ何とき、襲うとも知れない災害に備え、集落ぐるみで付近の点検を行いたいものです。

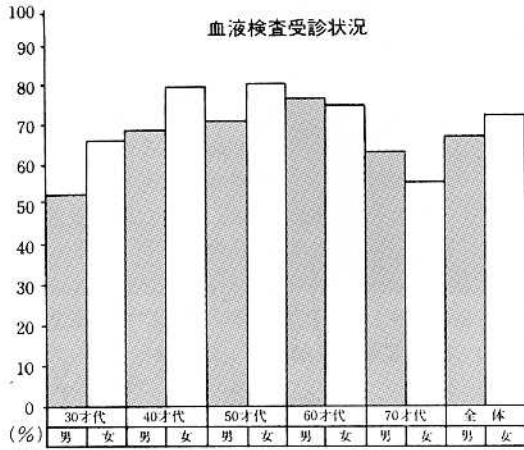
- 戸籍の窓 五月―敬称略 誕生おめでとーございます
- (大沢) 今井 明生 崇仁 (長男)
  - (柏本) 村雲 陽司 さやか (二女)
  - (平) 田口 幸生 恭子 泰生 (長男)
  - (平) 今井 邦廣 亨 (三男)
  - (平) 三和子 (二男)
- いつまでもおしあわせに
- 今井克幸 (下野)
  - 小池さつき (西洞)
  - 田口良次 (加舎尾)
  - 田口すみれ (加子母村)
  - 安江健郎 (日向)
  - 小川敏美 (名古屋市)
  - 安江一真 (平)
  - 渡邊雪子 (国府町)
  - 小林幹直 (八百津町)
  - 桂川容子 (陰地)
- おくやみ申し上げます
- 安江定雄 80歳 (大明神)
  - 安江藤吉 86歳 (陰地)
- 善意の寄付―敬称略
- 〔病院医療機器整備寄付金〕
  - 現金五万円―澤木きしの (平)
  - 現金三万円―匿名
  - 〔東白川小学校へ〕
  - ぞうきん百枚―婦人会神土支部・漫画「ヘルシー文庫」―日本学校保健会

受けていますか：

# 成人病検診は健康の見張番

私たちは、健康を第一の目的として生きていくわけではありませんが、健康なくしてはどんなすばらしいプランも実現しません。自分ではわからない体の状態を知るために成人病検診について考えてみましょう。

しあわせのベースは健康から：  
三十歳までは、人生でいちばん健康に恵まれる時期なのですが、三十歳を過ぎてからも同じように健康でいられるかどうか



保証はありません。家庭を持ち仕事を忙しくなるあなたの健康を、心配しているのは家族のみなさんです。家族に心配をかけるためにも健康診断を欠かすことはできません。

十五年から三十歳以上を対象に成人病検診を行っています。ところが年々受診者は減少の傾向にあり、年齢別にみると、三十歳代から四十歳代の男性の受診者が少ない現状です。

先月実施した血液検査は、この成人病検診の一环として行ったものです。年齢別の受診状況をグラフに示してみると、ここでも三十歳代の男性の受診率が五十代と低く、関心が薄いことを物語っています。

しかし、受診者の中に

は受診票のこなかった二十歳代の方が十数名含まれており、年齢に関係なく自分の健康をチェックしようという気持ちは、とてもよい心がけです。

今年度の成人病予防検診は、千五百九人を対象に六月二十二日から二十五日までの四日間と、二十九日から三十日までの二日間実施します。検診の内容は、問診・身体計測（身長・体重・皮厚）・検尿・血圧測定・保健指導・栄養指導をして、血液検査の結果説明を行います。

血液検査では、大まかに肝臓病・動脈硬化・貧血・糖尿病がわかるようになっていますが、成人病予防検診の保健指導の場

で個別に詳しく説明しますので「血液検査を受けた人は」必ず成人病予防検診を受けてください。

今年度から新しく対象となるかたの声です。「もう成人病検診の対象になるなんて若くないなあ」「年に一度は健康の確認ができるのでうれしい」「まだまだ健康には自信があります」などと、感想はさまざまです。

多くの人は、一度病気に苦しむ、初めて健康のありがたさに気づくものです。しかし、気づいたころには、かなりやっかいな状態になっていることがよくあります。このようなことを避けるためにも、年に一度の健康チェック。成人病予防検診を、進んで受けましょう。

## シリーズ 思いやりと暮らし Ⅱその九Ⅱ

### 家族ぐるみで

### ちゃんと伝えていきますか・・・

知っているようで案外知らないのが家族同士です。ひよっとするとお互い何も理解しないまま生涯を終えることになり、親から子へ、子から孫へと、家族の温かみや伝統を伝えていきたくないものです。

おじいさんは野菜づくりの名人、おばあさんはお手玉が上手といったことを聞けるかもしれません。とっておきの話もあるでしょう。じっくり話しあい、家族同士お互いわかりあっておきたいものです。

- 【神戸保育園へ】  
このほり一式―安江芳晴(平)・絵本四十五冊―服田順次(平)  
【越原保育園】  
竹ぼうき十本―五加老人クラブ寿会・竹ぼうき五本―越原老人クラブ長寿会・カーネーションプロローチー東白川村母子寡婦福祉会
- 【五加保育園へ】  
わらぼうり三十足―今井利一(下野)・竹ぼうき十本―五加老人クラブ寿会・絵本二十五冊―今井製材(大沢)・カーネーションプロローチー東白川村母子寡婦福祉会・ぞうきん十枚―婦人会五加支部
- 【村内公共施設へ】  
竹ぼうき七十四本―老人クラブ長寿会
- 【工事入札結果の公表】  
①は入札期日②は落札金額  
および落札業者  
◆県営畑地帯総合土地改良事業  
▽曲坂地区  
①四月二十四日②九千八百万円(旬)マルト土木  
▽平地区  
①五月八日②三千八百二十万円―山田土建  
▽下野地区  
①五月八日②二千六百万円―丸登建設

# 「一杯のかけそば」の話題を追う

## 日本の心をゆさぶった

いま、「一杯のかけそば」という童話が話題を呼んでいます。

ちょっとした「かけそば論争」も引き起こしたこの本をめぐる、お読みになった皆さんの感想を紹介しながら、〈心に触れる〉とはどんなことだろう？ 〈人間の心って何だろう？〉と問いかけてみたいと思います。

もちろん、その答は、あなたの「心」の中にあります。

栗本文恵

平

むずかしい字がいっぱいあったので、おにいさんに読んで聞きました。お母さんといっしょに、お母さんの顔をちょっと見たら、なみだをながしていました。お金がないので三人で一杯のおそばしかちゅうもんしなかつたので、お母さんはえんりよししく声をかけて、弟がやさつかんであげたのが、とてもやさしい弟だと思いました。わたしたちのくらしと、一杯のかげそばの三人とは、わたしたちのくらしが、とても、ぜいたくです。



東白川小学校三年

### 涙は人の心を洗う…

まず、作者（栗良平）のあとがきの一節を紹介しましょう。

ある学校で「校内暴力がなぜ起きたか」という、父母と教師の反省会があり、そこで集約された意見は、  
一、基本的なしつけに欠けている。  
二、活字（読書）離れが進んで、思考力が低下している。とありました。

そこで作者は考えました。「本を読む習慣がないまま大人になるとしたら、心の健康はどうなるのか……」「けれども、活字離れした子供に、文学本を買ってきて、すばらしい本だから読め、と与えてもだめだろう」そして生れたのがこの童話で

す。

話題になった「一杯のかけそば」を始め、この作品集に納められている作品は、すべて、親が子供に読んで聞かせることを念頭において、作ったものなのです。

作者はさらに言います。  
童話や民話というものは、

それを語ってくれた両親や祖母、そして先生のなつかしい思い出として、子供の心にいつまでも残っていくものなのです。

栗本文恵ちゃんの感想文（右の一節、「おにいさんに読んで聞きました……」）そして文恵ちゃんがそっと見たお母さんの涙、一生忘れられない涙です。

古田友紀 || 高三・久須見

「一杯のかけそば」の話は、最近テレビで話題となっており私も一応の粗筋は知っていました。

この話を聞いての感想は、「それだけの話なの？」でした。今、二度目はこの話を読んでみました。

私には、この話に登場する人みんなの心がとても素直で純粹で、優しいのが不思議で仕方ありません。それに、そば屋の夫婦が一年に一回しか来ない親子のためだけに、店を改装してテーブルを残して、親子を待っているのには少し信じられませんでした。



### 一杯のかけそば

この物語りは、今から十五年ほど前の十二月三十一日、札幌の街にある、そば屋「北海亭」での出来事からはじまる。

そば屋にとつていちばんのかき入れときは大晦日である。北海亭もこの日は朝からてんこまいの忙しさだった。

いつもは夜の十二時すぎまでにきやかな表通りだが、夕方になるにつれ、家路につく人々の足もはやくなり、十時をまわると北海亭の客足もばったりと止まる。

（中略）

# 「一杯のかけそば」

## 一編の童話が

未来へ伝わるか、この感動

高校三年生の古田友紀さんはこの話の登場人物の心が、みんな純粹で優しいことを、不思議だと感じています。

そうです、現実の社会は、こんな優しい人ばかりではありません。

だからこそ、この物語りが人びとの心を打つのかも知れません。

文中では省略しましたが、古田さんは「もし、平成元年の十二月三十一日が

この物語りの始めだった

たら、同じように終わったと思いますか？」とドキリとするような問いかけをしています。

この「一杯のかけそば」に、涙を見せない人が多くなつたとしたら、「感動」という言葉の意味をもう一度考え直さなくてはならないかも知れません。

「わたしたちのくらしと一杯のかけそばの三人では、わたしたちのくらしがとて、ぜいたくです」と結んだ栗本文恵ちゃん

の感想は、私たちの心のぜいたくさを思い起こさせてくれました。



荻田良香

曲坂

一杯

東海ラジオでこの一杯のかけそばが、国会でも出たことを知って、一度読んでみたいと思っていました。

しばらくして、暖い緑側で和裁をして居た時、ラジオから朗読で聞くことが出来ました。

—— 感想文の一部は省略させていただきます ——



授業参観の日には、一杯のかけそばという題で淳は作文を読んだときは、兄はずかしと思っていた。僕も兄だったら同じ

ことを思っていたと思う。でも淳は胸を張って読んでいるので、僕もはずかしいと思っていけないと思った。そして、お客さんに「がんばってね、幸せになって思いをこめてありがとうございましてと言え、日本一のそば屋さんになる」といったとき、とても感動しました。

樋口善哉 中二・西洞  
貧しい身なりの母と子供二人が、大晦日の夜「北海亭」で遊ぶと一杯のかけそばを注文した。とても勇気がいることだと思つた。

そして二年後の大晦日の日には、お父さんがおこした事故でたくさん借金があつたけど、それが全部支払いできて、貧しさから出る第一歩で、その日に食べたそばは、一番おいしかったと思う。

作者

栗良平

北海道砂川市出身(46) 病院職員を10年勤めたあと、全国各地の民話を収集。それを話して聞かせる「口演」活動に多忙な毎日を送っている

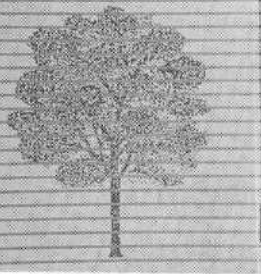
一杯のかけそば、は滋賀の青年の体験をもとにした創作童話。

この物語りを納めた「栗良平作品集2」は東白川公民館図書室(村民センター4階)と、地域文庫越原集会場、五加センターに各1冊づつあります。

貸出し 毎週金曜日午前10時~午後

5時

栗良平作品集2



歴史の証言・立村百年の記録 (第十四話)

「安江さん」と呼ぶと、何人もの人から返事が返ってくる。そんな苗字と家紋の歴史を、たどってみましょう。

# 安江さん…って男?・女?

## 苗字の向うから 歴史がのぞいている!

明治5年の苗字一覧表 (戸数 487戸)

安江	199	新田・大坪・牧野 伊藤・有田	各4
今井	87	菊田・河田・熊沢 編間	各3
村雲	35	早瀬・熊崎・加藤 高木・井戸・神戸	各2
田口	30		
古田	21		
桂川	16	細江・服田・高井 林・渡辺・中島	各1
松岡	11	鈴木・安倍・伊東 鈴木・安倍・五小	
島倉	9	金尾・越原・交告	
栗本	7	長瀬・交告	
小池樋口	各6	後藤	

江戸幕府は、苗字と帯刀を武士の特権として、百姓町人には許しませんでした。明治三年になって、ようやく苗字を公然と名のつても良いことになりました。しかし、永い間苗字の無いのに慣れて、急に苗字をと言われて困ってしまい、止むを得ず役場で苗字を拵えられて届けたという話も残っています。苗字は人を表わし、苗字の動きは人の交流を示します。

人の動きが少なかった農村社会も、近年は交流が活発になり、これにつれて苗字の数も増えました。明治五年から百十七年をへだてた今日、今年の一月一日現在の苗字はどうなっているか、左の表で比べてみて下さい。安江は相変わらず多いとはいえず、その率は三十一パーセント弱と下がり、苗字全体の種類は百三十四種類と三倍以上に増えました。そして言葉さえ郷愁的な家紋、よく見るとすぐれたデザインと思いませんか。

今年の世界デザイン博が開かれますが、日本人は自分の家のシンボルマークを昔から持っていた……なんて世界的にすばらしいと思えます。

同じ苗字を名のるのが普通で、安江家の二男が分家をして安江を名のる、そのまた子孫が分家をする……というぐあいに、安江さんが増えていきました。ぐら安江…などと言われるゆえんです(安江さんには失礼!許して下さい)

### 村の四割が安江さん

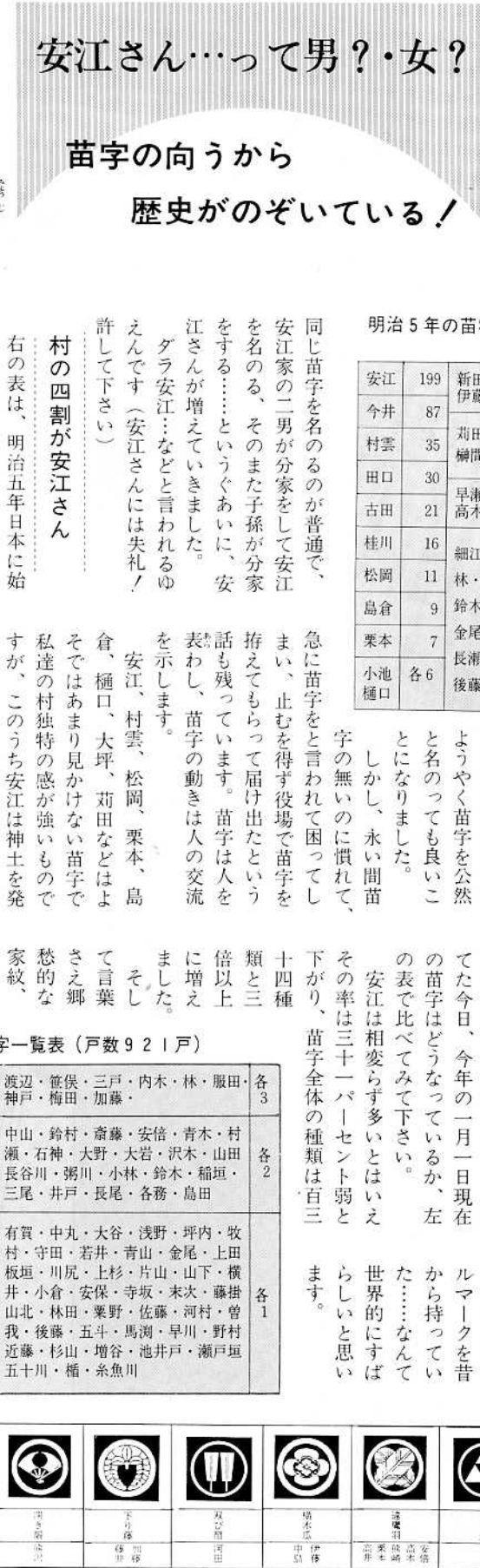
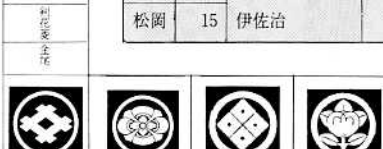
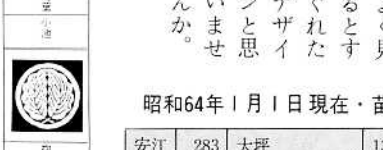
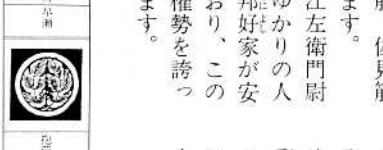
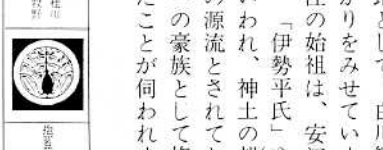
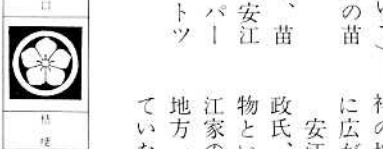
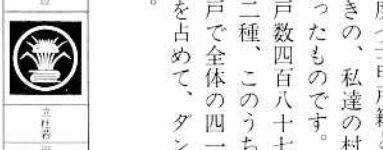
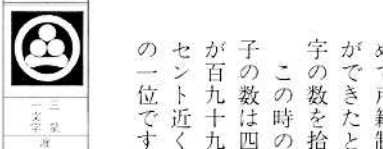
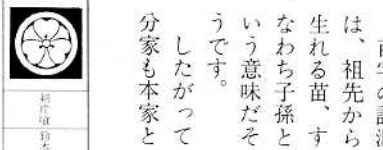
右の表は、明治五年日本に始めて戸籍制度(壬申戸籍という)ができたときの、私達の村の苗字の数を拾ったものです。この時の戸数四百八十七、苗字の数は四二種、このうち安江が百九十九戸で全体の四一パーセント近くを占めて、ダントツの一位です。

苗字の語源は、祖先から生れる苗、すなわち子孫という意味だそうですが、分家も本家と

に広がりを見せています。安江の始祖は、安江左衛門尉政氏、「伊勢平氏」ゆかりの人物といわれ、神土の那好家が安江家の源流とされており、この地方一の豪族として権勢を誇っていたことが伺われます。

昭和64年1月1日現在・苗字一覧表 (戸数 921戸)

安江	283	大坪	13	渡辺・笹俣・三戸・内木・林・服田・神戸・梅田・加藤	各3
今井	128	伊藤	10		
田口	60	樋口・小池	各9	中山・鈴木・斎藤・安倍・青木・村山田・石神・大野・大岩・沢木・稲垣・長谷川・粥川・小林・鈴木・稲垣・三尾・井戸・長尾・各務・島田	各2
村雲	57	熊沢・熊崎	各7		
古田	35	中島	6		
桂川	35	河田・新田・藤	各5	有賀・中丸・大谷・浅野・坪内・牧村・守田・若井・青山・金尾・上田・板垣・川尻・上杉・片山・山下・藤掛・井・小倉・安倍・寺坂・末次・藤掛・山北・林田・栗野・佐藤・河村・野村・我・後藤・五斗・馬湖・早川・野村垣	各1
島倉	17	井・額部・早瀬			
栗本	17	山口・高井・有田			
菊田	16	高木・牧野・土井	各4	近藤・杉山・増谷・池井戸・瀬戸	
松岡	15	伊佐治		五十川・樋口	





# 話題集れ!

あなたのまわりに明るい話題がありましたら係まで連絡ください。  
連絡先 商工広報係 有線2155番

## 個人の技能生かして西洞センター整備

五月二十八日、昨年十二月に完成した西洞センターの周りでは、早朝から休むことなく重機がうなりをあげ、ゲートボールが出来る約七百七十五平方メートルの広場と、センター周辺の環境整備が完了しました。

この工事は、「みんなで使え

## 尾城山で語った僕の夢・私の夢

村の最高峰「尾城山」(千二百三十二・九)の山頂からふるさとを眼下に、「僕が総理大臣ならあそこに高速道路を走らせるなあ」「私ならレジャーランドを作るわ」「いや野球場だよ」と、思い思いの夢をふくらませた東白川小学校全校登山が五月二日に行われました。

登頂に続く四つ目の挑戦となった尾城山へ、全校児童と父母・先生を含めた三百十四人が元気よく山頂をめざしました。途中、行く手をはばむ谷越えが何度かありましたが、上級生が下級生の手を引き、弱音を吐く子もなく無事に登頂。山頂では、全児童一人一個づつ持ち運んだメッセージ入り



「足元に気をつけて…」と、手を引く上級生

川石を積み木製の標柱を登頂記念に建て、児童たちはおにぎり弁当をほおばりながら、目的を果した満足感をかみしめました。

る広場を自分たちの手で」とセンターの竣工と同時に組集会で整備計画を立て、この日着工の運びとなったものです。作業は、集落から一戸一戸二名の出役と約一百万円の負担金を集めて、ブルドーザー・ミニバックホー・クレーン車・ロー



腕によりをかけた仕事ぶり

ラーなどを借り受け、U字溝六十五本を購入。重機の運転から石積みまですべての作業は、集まった三十六人の個々の技能と技術を生かして自力で行われました。「オウーできた!できた!」と歓声が飛び交う中で、「この喜びはやった者しか味わえませんよ。これからも、どんどん使いたいように整備していきます」と、組長さんも意気高らかに喜びを語ってくれました。



「百聞は一見に如かず」ですよ

## 柿の木「竜」に変化

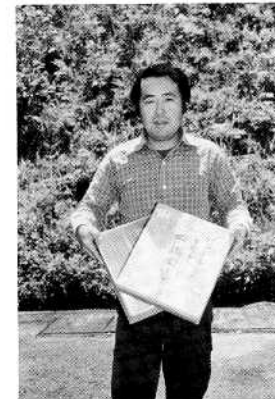
「ご覧いただけますか?。今にも空に向かって舞い上がるようにしている。竜の姿を。」自然のいたずらには、しばしば驚かされることありますが、これほどの出来ばえはめずらしい。

## 「うっかり病」回覧箱で解消!

「この袋何んだったかな?」と思わず手にした袋が回覧箱だった。という経験はありませんか。うっかり服の下になついたり、本といっしょに積み上げていたり、うっかりケースはさまざまです。

口森松さん(89)の自筆で、村立百年記念と書かれており、「この箱が田口さんの年齢まで長く使ってもらえるように」と、四月から「うっかり病」返上でスピーデイ回覧箱が始まりました。

そこで登場したのが写真の回覧箱。「大切な回覧文書を一日でも早く」と、下親田組長の安江正徳さんが材料支給で作らせたもの。スギの木目が美しい箱の表には、長老の田



出来ばえ上々!と安江正徳さん

いのでは...。西洞の河田重喜さん宅の裏庭にあるこの竜。正体はソウヤ柿の古木です。寿命がきて枯れはじめた幹の上部を切り落したところ、居間からながめる姿があまりにも竜に似ており、河田さんが卵のからで目を入れると、魂が入れられたかのように勇しい登りに変化したのです。頭部には、密生したキノコが立ち髪を描き、切り残した枝が牙を描く。まさに、計り知れない自然の妙技といえるでしょう。



### 募集します

### 高齢者交通安全標語

交通事故のない安全で快適な環境、とりわけ高齢者の方が安心してすめる地域づくりを進めるため、高齢者の交通安全のための標語（スローガン）を募集します。

#### 標語の内容

高齢者の交通安全に関するもので、県民一人ひとりの高齢者交通安全への関心を高めるもの。

#### 応募方法

○普通ハガキに住所、氏名、職業（または学校名、学年）を明記のうえ、左記あて送付してください。  
○作品は自作未発表のものに限ります。

○一人で何点でも応募できますが、一枚のハガキには作品を一点としてください。

#### 応募資格

県内に居住または勤務する方が

#### 締切り

平成元年七月二十日

#### ◇入賞発表及び表彰

入賞作品は、平成元年九月十二日開催予定の高齢者交通安全大会において発表し、あわせて表彰します。

#### ◇応募先（問い合わせ先）

〒五〇〇岐阜市数田一丁目一番地・岐阜県企画部県民生活課内 岐阜県交通安全対策協議会事務局（電話〇五八二一七二一一）

### 利用できます

### 高齢者住宅整備資金

県では高齢者の福祉を増進するため「岐阜県高齢者住宅資金」の貸付を行っています。今年度から貸付限度額が「百五十万円」から「二百万円」に拡大されましたのでぜひご利用ください。

#### 〔貸付額〕二百万円まで

#### 〔貸付対象者〕

県内に住所があり、かつ親族である六十歳以上の高齢者と同居し、または同居しようとするかた。

#### 〔貸付対象工事〕

高齢者の専用居室など（風呂便所などを含む）の増改築または改造。

〔利率〕年三パーセント

〔償還方法〕

口座振替による月賦または半年賦の元利均等償還

〔貸付要件〕

世帯の所得、部屋数、工事単価、工事費が一定の基準を超えるときは対象になりません。

〔受付期間〕七月十日まで

〔申込先〕

役場民生課老人福祉担当まで

### 行政相談員

### 金尾さんに感謝状

五月十七日、村の行政相談委員としてご活躍いただいていた陰地の金尾竹雄さんに、岐阜県行政監察事務所長から感謝状が贈られました。

今回の表彰は、永年にわたる相談委員としての功績に対し贈られたものです。

行政についてのお困りごとは奇数月の十日に開設される行政相談所へお頼みください。



### 常備薬に梅肉エキスを作りませんか

今年も青梅の採れる時期がやってきました。

て作ってみたいかがですか。作り方

- ①もぎたての青梅をまな板二枚で押えて割り、種を取る。
- ②果肉をミキサーにかけ、青汁を取る（おろしですり絞ってもよい）
- ③青汁をホーロ鍋で約六時間弱火で煮つめる。
- ④約缶の量で褐色となり、煮詰まるころにガラスのフタ付ビンを煮沸させ（消毒）煮詰った果肉を入れる。（フタが金属の場合は間にラップする）

### 立村百年記念ビデオ製作にご協力を！

村では、立村百年を記念してビデオを制作しています。これは、立村百年を機に、御協力のおかげです。

皆さんにもう一度我が村を再認識してもらおうと同時に、未来について考えてもらおう。そして、村外に村を紹介できる内容のものです。

現在、役場の職員が手づくりで、村の産業や活動の撮影にとり組んでいます。九月まで撮影を予定



手づくりビデオ撮り開始

今月の図書



ダイヤモンドダスト 南木佳士著

都会化し荒廃する火の山を望む高原の「ふるさと。で近く者と残される者と— 医師の立場から変貌する別荘地の病院を中心にその自然と住人たちの生活をリズムカルでしっとりとし落ち付いた文章で厚み豊かに描き出すことに成巧した小説です。ひたむきな真剣さが心うつこの一冊を一人でも多くの人に読んでいただけたらと紹介します。

沈める寺 木崎さと子著

北陸の、水底のような静寂に鎮まる寺域に突然起る一夏の愛と死。由緒ある大寺の坊守として人々の尊敬を受ける母親。一人息子をめぐって起る恋争いが母親に思わぬ試練を……。何時の世にも変らぬ煩悩を因襲と新時代との交錯の中に濃密に描かれた意欲作です。

ふるさとのことば ④

★どんびき

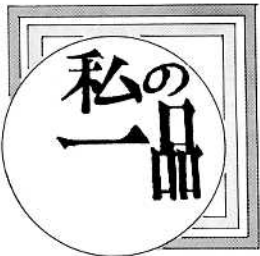
カエル(蛙)の合唱がなんともやかましく感じられることとなりました。「どんびき」はカエルの総称で岐阜県の東部から北部で多く用いられますが、他には長野県の一部、富山県の南部にその使用があるだけの珍しい言葉だそうです。「どんびき」を分解すると、「どん」と「びき」に分けることができます。「どん」は接頭語といつて、ある語の前に付く語で、その語だけでは独立しない語です。「ど」という接頭語がありますが、これをさらに強めたもの



です。最下等の意味し、罵ったり、卑しめたりする意を含んでいます。「どんじり」「どんけつ」などといえますね。「びき」はヒキガエル(蟷蛙)のこと、夏の季語となっている

ます。すでに、平安時代の辞書「色葉字類抄」に「蟷蛙 ヒキヒキカヘル」と出ていますからかなり古い語のようです。それが、いつの間にか「どん」と結び付いてカエルの仲間全部を卑しんでいる語になってしまいました。

「かすどんびき」となると最低の名前です。本当は「ツチガエル」といってアカガエル科のカエルですが、背に線状の隆起やいぼ状の突起があり土のよう汚く感じられるので「かすどんびき」となってしまうようです。「あなさわどんびき」などと地名を頭にかぶせていうこともあり。そういえば、「あなさわどんびき」のあの悲しげな細い鳴きこえは今年も聞かれるでしょうか。ガマガエルだけは「ひきだ」といって別扱いします。ヒキガエルは這い歩くので引蟻蟻とい、気を吐くところからイキガエルともいわれ、人が触れるとふくれるところからフクルルカエルの意もあるようです。



時を運ぶ石器



今井正男さん コレクションを手にする

その貴重な資料は、村の歴史を探る手掛りになるものとして、村誌作成にも利用されています。中でも、私の一品は：と、手にされたものは、縄文時代に土掘りに使われたという打製石斧、鳥獣を獲るための石鏃、動物の皮や木の皮をはがすための石匙、煮物等に使用された石器が、一枚の板に大切に整理された中学時代の思い出の品。

「今、この鏃と同じ形のものに私に作れといわれても、こう精巧には作れないだろうな」と、縄文時代の晩期(三〜四千年前)に作られたと思われる石鏃を手に、首をかしげられる中通の今井正男さん。中学時代に、平遺跡で初めて手にした鏃の魅力に惹かれ、それから約四十年間に三百点にも上る石器類を取集されました。

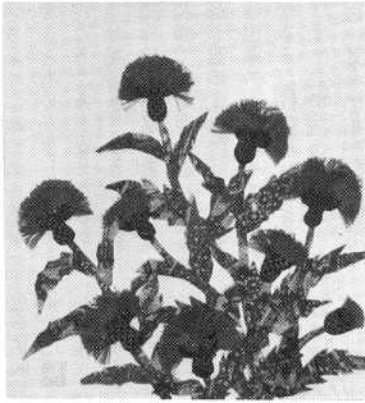
「仕事から土をかまう機会が多く、最近でも何点が拾いました。昔は、夕立のあとに出掛けると必ず五つ六つは拾えたもんです。時代が変わりほ場整備で村の様相も一変しようとしていますが、いままでも取集した石器類では、まだまだ資料不足なので、住民の皆さんにも注意して見ていただきたい」と、文化財審議会員としての言葉も忘れない。

さらに今井さんは「家庭にある資料を失わないためにも、立村百年を契機に資料館の建設が急務である」と力説されます。

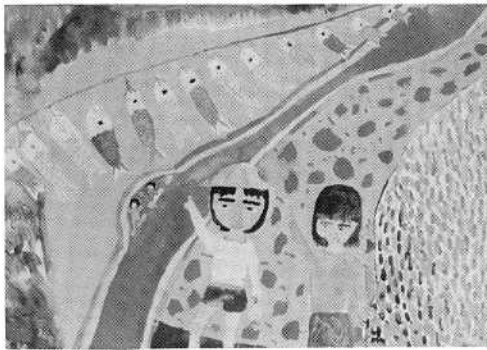
お寄せください

高価なものでもなくとも、その人にとっては人生の支えであり、あるときはその一生さえ支配するような「私の一品」お知らせ下さい。

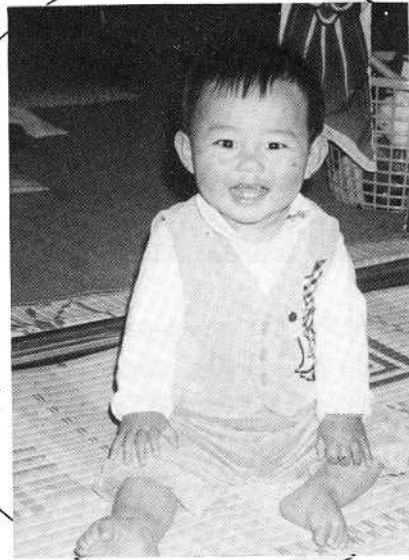
# 私の作品



▲ アザミ  
(廃物利用アイデア作品)  
熊沢梅子さん(日向)

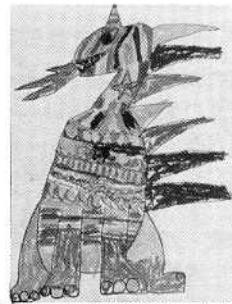


▲ 立村百年こいのぼり  
東白川小学校5年生 安江美佐紀さん(下親田)



安江健太郎くん(一歳) 神付  
清造さん・恒子さん(長男)

すくすく育て



▶ ドラゴ

東白川小学校  
二年生 古田純平くん  
(西洞)

## 短歌



あなたの作品をお寄せください。  
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。  
・毎月20日までに、神土伊藤重雄宛に出してください。

孫は今日オーストラリヤへ一人発つ職場決りし東の間を思ひて

可児市(藤原出身) 小池きぬえ

子守りの森に木霊するカラオケに御酒ひかえて出番を待てり

安江 香

二円切手貼り足して出す封筒の中身は政治不信の投書

安江 幸

高原のみどりの中の牧場は前に御嶽昔には乗鞍

安江 龍玉

○春蟬の鳴き始めたる雨上り播きおくれたる花の種播く

今井 かな

○夢にさえ見ざりし時代の変わりさま輸入野菜が農家を襲ふ

早瀬 勇造

程を経てつちのこ広場賑ひぬ孫の土産の財布せわしく

村雲 うめ

二株の苺の苗に初成りの赤き三粒は惜しみ眺むる

早瀬 久子

○音もなく刻は移るか逝く春の硝子戸に射す日あし傾く

古田よし江

よもぎ摘みゆでて干したる色のよし年号書きて一先づ仕舞ふ

安江すみよ

○ブロックの間より咲き出でしタンポポの風にゆれつつ輝やくばかり

安江 守平

○ゆで上げし逢の匂ひ部屋に充つ子等帰る日に草餅掲かむ

安江 節子

道沿ひの桜並木の葉桜も風静かなり今日みどりの日(四月二十九日)

田口 一枝

風ゆかせ茄子田に張りしマルチには向ひの山の新緑の映ゆ

安江 澄

暮近き氷見の海はも静まりて波打ち際に貝殻探す

伊藤 美枝

高遠の石工傳造の鑿の跡今もみづみづし南無阿弥陀佛

伊藤 重雄

高遠の石工傳造の菓参りそは降る雨にぬかる小径を

全 人

○贈られしセーター少し地味なれど嫁より見れば老いたる母なり

三戸 きり

幻の榎の子出て来よ野も山も今は新緑したたる里へ

小池 弘子

○

田口 良三

何事も忍びあきらめ穩かに老い遂げんかな已尽くして

田口 良三